

特別企画

Special Edition

漢方医学、新たな地平へ —歴史・臨床・教育が拓く未来—

Kampo Medicine in Dentistry: A New Horizon
—Shaping the Future through History,
Clinical Practice, and Education—

企画要旨

超高齢社会の到来や患者背景の多様化に伴い、歯科医療においても全身状態や生活背景を踏まえた包括的な診療の重要性が高まっています。その中で、口内炎、口腔乾燥症、舌痛症、歯周病、顎関節症、オーラルフレイルなど幅広い口腔疾患に対する漢方医学の有用性が改めて注目されてきています。歯学教育モデル・コア・カリキュラムや歯科医師国家試験に「和漢薬」が取り入れられるなど、歯科医学教育から歯科臨床現場における漢方医学の位置づけは大きく変化しています。

そこで本特別企画では、「歯科医療における漢方医学」をテーマに、その歴史的背景から現在の臨床応用、さらには歯学教育までを俯瞰できる内容を企画しました。小澤夏生先生には、日本漢方の歴史と歯科領域への導入の経緯を振り返るとともに、漢方医学の考え方と代表的方剤の活用について解説いただきました。山口孝二郎先生には、歯科医学教育、歯科臨床およびナショナルデータベース（NDB）の解析結果をもとに、歯科領域における漢方薬の現状と将来展望を解説いただきました。さらに砂川正隆先生には、歯学教育モデル・コア・カリキュラムや歯科医師国家試験への導入、全国歯学部における教育実態調査を踏まえ、歯学部における漢方医学卒前教育の現状と課題、今後求められる教育体制について解説いただきました。

本特別企画が、歯科医療における漢方医学への理解を深めるとともに、日常臨床や歯学教育における活用を考える契機となれば幸いです。

主な内容

■ 予期せぬ出会い
小澤 夏生

■ 歯科臨床における漢方医学の現状ならびに今後の展開
山口孝二郎

■ 歯学部における漢方医学の卒前教育の現状と課題
砂川 正隆